

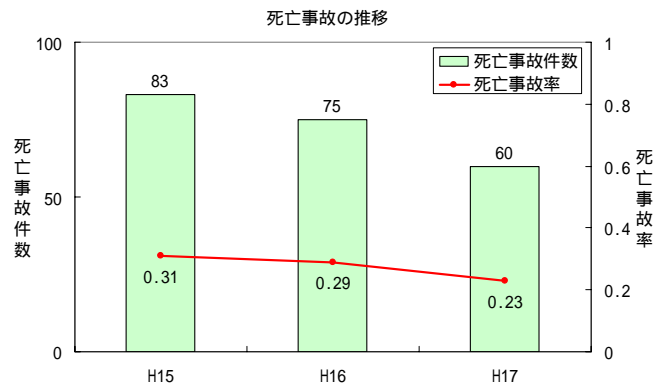
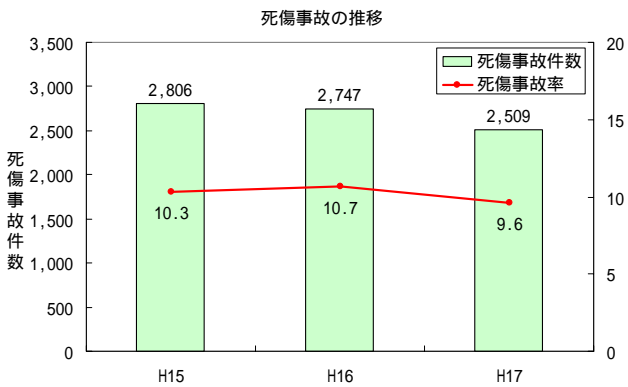
## 安全・安心(1) ~ 死傷事故率 ~

**円滑な交通を確保し、安全対策を推進することにより、死傷事故の減少を目指します。**

平成17年度は、NEXCO西日本管内で年間約2500件の死傷事故が発生し、死傷事故率としては、9.6件/億台キロへ減少しました。

これは一般道路などを含めた全ての道路の死傷事故率約120件/億台キロに対し、約12分の1であり、高い安全性を維持しています。

また、死亡事故は0.85件/億台キロに対し、約4分の1であり、発生件数、率ともに近年顕著な減少傾向を示しています。



### (1) 取り組みと成果

路面湿潤時の事故対策として高機能舗装を約380km・車線施工しました。

夜間事故や漫然運転防止対策として高輝度レーンマーク約20kmを施工しました。

ETC利用率向上による本線料金所渋滞緩和に伴い、渋滞中追突事故が減少しました。

阪和道、第二神明道路の死傷事故件数

平成16年: 436件      平成17年: 304件      132件

交通安全キャンペーン(春・秋)の実施や安全啓発チラシ等の配布しました。

高機能舗装の施工



本線料金所渋滞減に伴う追突事故の減



高輝度レーンマークの施工



交通安全キャンペーンの実施



(2)平成18年度の取り組み(目標値:10.7件/億台キロ<下回るよう努力>)

引き続き高機能舗装の施工、高輝度レーンマークの施工及び関係機関との連携による交通安全キャンペーンを実施します。

暫定二車線区間における対向車線飛出し事故防止対策として、凹凸型路面標示工、導流レーンマークを実施します。

逆走防止対策として、IC・JCT・休憩施設における標識、路面標示の設置等を実施します。

### 暫定二車線区間における対向車線飛出し事故対策



逆走防止対策



## 安全・安心(2) ～ 舗装保全率 ～

### 健全な舗装路面確保し、安全で快適な道路路面の提供を目指します。

平成17年度の舗装保全率は、快適で安心な道路サービスを提供できるよう、安全で走りやすい舗装の維持及び向上を推進し、前年度78%の舗装保全率を82%にまで向上しました。

#### (1) 取り組みと成果

路面のわだち掘れやひびわれ等を調査し、補修が必要な箇所約460km・車線の舗装補修を実施しました。



通常舗装と高機能舗装との比較例

#### (2) 平成18年度の取り組み(目標値:85%)

前年度の取り組みを継続し、今後5ヵ年で要補修箇所を着実に補修し、突発的な損傷、予想外の補修箇所についても適宜補修します。

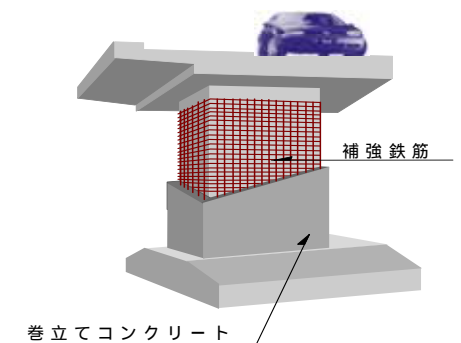
## 安全・安心(3) ～ 橋脚補強完了率 ～

### 古い基準を適用した橋梁の橋脚を補強し、地震に強い道路を目指します。

平成17年度に国と都道府県及び高速道路会社が連携して、兵庫県南部地震と同程度の地震動に対して落橋等の甚大な被害を防止するため策定された「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」への適切な対応を図るべく、耐震補強を必要とする全橋脚の85%を完了しました。

#### (1) 取り組みと成果

平成17年度は約140基の橋脚補強を実施しました。



鉄筋コンクリート巻き立て補強工法の例

#### (2) 平成18年度の取り組み(目標値:86%)

平成18年度は、約130基の橋脚補強を目指すとともに、長大橋梁についても構造特性や地盤状況に応じて専門的な解析を行い、その結果、補強の必要性が生じた場合には必要な措置を行います。